

## 第4学年〇組 道徳科学習指導案

令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時

- 1 主題名 「あなたの命 みんなの希望・みんなの喜び」[内容項目D 生命の尊さ]
- 2 ねらい 「とも君は、とも君のままでいい。」と言ったお父さんの気持ちを考えることを通して、生命のかけがえのなさを感じ取り、生命を大切にしようとする心情を育てる。

教材名 走れ江ノ電 光の中へ (出典『新しい道徳4』東京書籍)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容について

| 学年段階   | 内容項目   |
|--------|--|
| 小学校低学年 | 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。                     |
| 小学校中学年 | 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。                       |
| 小学校高学年 | 生命が多く生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。 |
| 中学校    | 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。 |

生命の尊さは幾度となく強調されなければならない。それは、失われたら二度と戻らない、かけがえのない生命であるからである。生命の尊さを知るために、生命は自分一人だけのものではなく、受け継がれてきたものであること、自分の生命に対して愛情をもって育ててきた家族の思いなど、様々な視点から気付かせることが大切である。また、近年、子供の自殺数が増えてきている。いじめや家庭環境など、様々な原因が考えられるが、命を簡単に捨ててしまっはいけない。そのことを子供たちに気付かせ、生命あるものを大切にしようとする心情を育てていくことはとても大切である。

#### (2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、1学期に「私の見つけた小さな幸せ」という教材で、生きることの幸せについて学習した。2学期に「家族のアルバム」という教材で、家族に愛され、大切に育てられている命の尊さについて学習した。また、3学期には二分の一成人式を行い、家族に育てられてきたこれまでの自分を振り返ったり、親からの手紙の手紙を読んだりして、自分の命がかけがえのないものであることに改めて気付くことができた。1年を通して、生命の尊さに関わる学習をしてきた。

しかし、「命は大切なもの」、「生命1つしかない」と知っていても、ふざけて友達に対して「死ね」や「死んじゃえ」という言葉を簡単に口に出してしまう児童もいる。また、児童がよく見ているテレビやアニメの中で死に関わる場面も多く見られる。生命の尊さについて頭で分かっている、本当の意味で命の大切さを感じている児童は少ないことも考えられる。

道徳科の時間では、発表する児童に偏りはあるが、比較的いろいろな考え方が出てくるようになってきた。自分の考えと友達の考えを比較しながら聞いたり、発言したりする児童も少しずつではあるが増えてきた。しかし、自分事として考えていなかったり、友達の話を聞いていなかったりする児童も見受けられる。そのような児童は、授業の最後の振り返りであまり書くことができない現状もある。

#### (3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、生まれつきお母さんと同じ心臓病をもっていて、残り少ない期間しか生きられないとも君に、周りに人たちが最後にもとも君の願いを叶えさせてあげようとしたという実話である。とも君が多くの人たちに支えられながら精一杯生きたことや、とも君に関わる周りの人の思いを考えることで、生命の尊さを深く考えられる教材である。

本学級の児童の実態を受け、主に次の場面を中心に話し合う。

##### ①とも君に、お母さんと同じ心臓の病気があると分かった場面。

我が子に生命に関わる病気があることを知った親の気持ちを考える。親が子供の命をどのように考えているのかを想像することで自分の命に大切さに気付かせたい。

##### ②とも君の周りの人たちが、とも君の夢を叶えようと努力した場面。

ここでは、1つの生命を支える、たくさんの人の思いに気づけるように話し合う。

##### ③とも君が「ぼくは助けてもらえばかりで、なんにもしてあげられない。」と言った場面。

とも君の言葉に対して、お父さんが言った「とも君は、とも君のままでいい。」の意味を考え、命が尊く、かけがえのないものであることを深く考えられるようにした。保護者にもこの場面のお父さんの気持ちを考えてもらい、授業の中で紹介する。命に対する様々な考え方に触れることを通して、生命の尊さに気付かせたい。

以上の理由から、本主題を設定した。

4 学習指導過程

| 段階 | 学習活動 ○主な発問   | ・予想される児童の反応   | ・指導上の留意点 ☆評価   | 時間                     |
|----|--|---|--|------------------------|
| 導入 | 1 アンケート結果を見て、命に対する友達の考え方を知る。   |   | ・「命」についてのアンケートを事前にとっておき、結果を見せ、本時の学習内容につなげていく。  | 4                      |
| 展開 | 2 教材の内容を振り返り、話し合う。<br><br>○とも君に、お母さんと同じ心臓の病気があると分かったとき、お父さんはどんなことを思ったでしょう？<br><br>○とも君の周りの人たちが、とも君の夢を叶えようと努力したのは、どんな思いからでしょうか？<br><br>○「ぼく生まれてきてよかった？ぼくは助けもらうばかりで、なんにもしてあげられない。」と、とも君が言ったのはどんな気持ちからだと思いますか？<br><br>○お父さんは、どんな思いで「とも君は、とも君のままでいい。」と言ったのでしょうか。（中心発問）<br><br>○ともくんは幸せだったと思いますか？お父さんは幸せだったと思いますか？（切り返しの発問） | ・死んでしまうかも。悲しい。<br>・病気であっても、楽しく明るく育てほしい。<br>・お父さんも頑張るから、とも君も頑張っている。<br><br>・最後に夢を叶えてあげたい。<br>・とも君に、夢や希望を持ち続けてほしい。<br>・病気と闘っているとも君の喜ぶ顔が見たい。<br><br>・助けてもらってばかりで迷惑をかけているから。<br>・お父さんに辛い思いばかりさせているから。<br>・病院で過ごすのが辛いから。<br>・長生きできないから。<br>・夢が叶えられないから。<br><br>・よくここまで頑張ってきてくれた。<br>・とも君の頑張る姿を見ることができて嬉しい。<br>・とも君がいるだけで嬉しい。<br>・とも君に代わる人はいない。<br>・とも君との思い出は他の人とは作れなかった。<br>・とも君でなかったらこんなに楽しい人生は送れなかった。<br>・とも君の命は1つだけ。<br>・幸せだったと思う。ともくんの笑顔を見ることができたから。 | ・事前に教材文を読ませておくが、話の内容を簡単に確認する。<br>・わが子に生命に関わる病気があることを知った親の気持ちを考えるようにする。<br><br>・1つの生命を支える、たくさんの方の思いに気づけるように話し合う。<br><br>・この場面のとも君の気持ちを考えることを通して、病気と闘うとも君の不安な気持ちに共感させたい。<br><br>☆お父さんのとも君に対する気持ちを考え、自分の思いを伝えている。(ペア・小集団・発表・つぶやき)<br>・子供たちのつぶやきも拾いながら、話し合いを進めていく。<br>・子供たちから出てきたねらいとする道徳的価値に迫るキーワードを板書する。<br>・保護者の考えも伝えることで様々な考え方に触れられるようにする。 | 4<br>3<br>4<br>5<br>15 |
|    | 3 自己を見つめる。<br>○今日の学習を通して、どんなことを考えたり、気付いたりしましたか？  | ・人の命はいろいろな人に支えられているものであることがわかった。<br>・自分の命も、他の人の命も大切にしたい。  | ・書く活動を取り入れ、自分自身をじっくりと見つめさせることによって、ねらいとする道徳的価値についての自覚を深めさせる。<br>☆生命の大切さについて、自分との関わりの中で考えている。(ノート、発表)  | 7                      |
|    | 4 教師の説話を聞く。  |   | ・教師の命を大切にする考え方を話して、本時のねらいとする道徳的価値に迫る。  | 3                      |
|    | 終末   |   |  |                        |

5 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

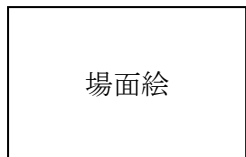
- ・お父さんやとも君に自分を重ね合わせ、友達の意見を取り入れ考えを深め、話し合っている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・生命の大切さについて、自分との関わりの中で考えている。

## 6 板書計画

「命」



○お父さん ○とも君



重い病気

・病気であっても、楽しく明るく育ってほしい。  
・お父さんも頑張るから、とも君も頑張る。

## 『走れ江ノ電 光の中へ』

周りの人たちの努力



・最後に夢を叶えてあげたい。  
・とも君に、夢や希望を持ち続けてほしい。  
・病気と闘っているとも君の喜ぶ顔が見たい。

「とも君は、とも君のままがいい。」



ぼく生まれてきてよかった？ぼくは助けてもらえばかりで、なんにもしてあげられない。

・助けてもらってばかりで迷惑をかけている。  
・お父さんに辛い思いばかりさせているから。  
・病院で過ごすのが辛いから。  
・長生きできないから。  
・夢が叶えられないから。

・よくここまで頑張ってきてくれた。  
・とも君がいるだけで嬉しい。  
・生きているだけで尊いこと。  
・とも君に代わる人はいない。  
・とも君の命は1つだけ。